

# A R A I · N E W S

## アライニュース

(株)新井広武 埼玉県大宮市東町2-12 ☎(0486)41-3825-7



を含む日本の  
主要メーカー  
は、ニア

ーパツ  
グによる加

圧熱成型で作っ  
たFRP帽体を採用  
しています。これは同じFR

P製でも、外国製の手貼りによる  
ものよりガラス含有率が高く、強度が

出るからです。しかし欠点もあります。それ  
は厚みのコントロールが非常にむずかしい事

です。だから、このメーカーも独自のノウ  
ハウを駆使して厚さをコントロールする努力

をしています。が、どうしても完全というわけ  
にはいきません。そこには帽体の全てを

全数検査により、厚みを測定し、必要に応  
じて補正を加えたりして厚さを保証してい

ます。この検査方法は、独自のなので、シ  
ビアはとびきりです。.....

ところが、そんな検査で厚みを確認された  
帽体も、の製品になるためには、更にも

う一度品質管理のエキスパートによる全数  
検査で、帽体全域にわたる厚みの再確認を



は、ニア

受ける事が義務づけられています。どうして  
そこまでするのか、こうなった由来をお話し  
させて下さい。.....  
何年も前の事ですが、まだ帽体検査が一度  
だけだった頃の事です。レース担当の者が、  
ある有名レーサーのヘルメットを作るの  
を見てみると、生産ラインから抜

き取った検査済の帽体を彼  
自身でもう一度検査し  
て厚みを確認した  
そうなんです。

うして

ら大丈夫とは思っけれど、検査済だから



そんな

事を？と聞

ど、万一の事があるといけない  
から。.....この答えはたまたまそうです。

これに、ドキッとしました。当時の体  
制では検査済となつていても、レース担当

者としてそのまま使うには一抹の不安が  
残る。それを市販していたわけでも、何日も

考えました。そして結局、検査済の帽体を  
更にもう一度検査してから使う体制をとる



う、という事になりました。手間、ヒマ、スベ  
リース、ユーストのかかる事で、ずい分迷いまし  
たが、製品に自信を持つには、これしかない  
と決断しました。そして、今だに帽体  
は二度の検査で、一度確かめたものを更に  
確かめて、初めて使用します。見えもしな  
いところに、何もそこまて、と迷った事もあ  
りましたが、これだけは、とガンコに守ってい  
ます。.....

でも、そんなおかげでしょ、か、どんな有名  
レーサーのヘルメットを作るにも生産ライン  
から抜き取った検査済の帽体をそのまま使  
うのに不安を持つ者は、にはいなくなりま  
した。もつともそれで当り前なんだろうけ  
れど、ユーザーのニーズには柔軟に対  
応するのが信条の。でも品質  
に対しては、ガンコな結構  
と考へます。.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

